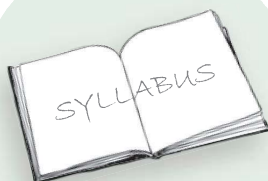




KAGAWA
UNIVERSITY

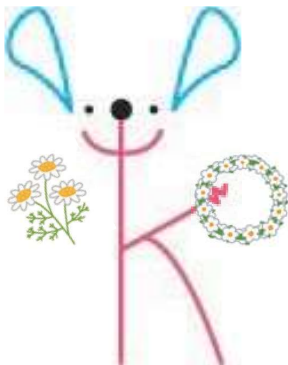


高校生を対象とした公開授業科目(第1学期) 履修案内(シラバス) ~2022年度版~



「シラバス」とは・・・

シラバスとは、各授業科目の詳細な授業計画のことです。
一般に、授業名、担当教員名、講義目的、
各回ごとの授業内容などが記されており、
学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものです。



香川大学マスコットキャラクター

【お問い合わせ】

香川県教育委員会 高校教育課 教育指導グループ
〒760-8582 高松市天神前6-1
TEL 087-832-3750 FAX 087-806-0232

香川大学 教育・学生支援部 学務グループ
(令和4年4月から学務グループは教育企画課に名称を変更する予定です)
〒760-8521 高松市幸町1-1
TEL 087-832-1186 FAX 087-832-1155

※授業内容に関するお問い合わせは香川大学まで

【公開授業科目(第1学期)】

授業科目名	教養/専門(注1)	担当教員	期間(注2)	曜日	時間	頁
学習環境の現在と未来	教養教育	笹屋 孝允 (教育学部)	4月11日～6月6日 (計8回)	月	16:20～17:50	1
身近な製品の仕組みとものづくりの基礎	教養教育	松田 伸也 (創造工学部)	4月14日～6月2日 (計8回)	木	16:20～17:50	2
歌唱法基礎A	専門教育	若井 健司 (教育学部)	4月14日～7月21日 (計15回)	木	16:20～17:50	3
民法入門	専門教育	辻上 佳輝 (法学部)	4月12日～7月26日 (計15回)	火	16:20～17:50	4
刑事法入門	専門教育	平野 美紀 (法学部)	4月11日～7月25日 (計15回)	月	16:20～17:50	5
政治学入門	専門教育	金子 太郎 (法学部)	4月8日～7月22日 (計15回)	金	16:20～17:50	6
法学入門(夜間主コース)	専門教育	春日川 路子 (法学部)	4月8日～6月3日 (1日2回、計15回)	金	18:00～19:30 19:40～21:10	7
経営管理論	専門教育	松岡 久美 (経済学部)	4月12日～7月26日 (計15回)	火	16:20～17:50	8
経済学入門A(夜間主コース)	専門教育	福村 晃一 (経済学部)	4月8日～6月3日 (1日2回、計15回)	金	18:00～19:30 19:40～21:10	9
(特)アメリカ経済論(夜間主コース)	専門教育	加藤 美穂子 (経済学部)	6月15日～8月3日 (1日2回、計15回)	水	18:00～19:30 19:40～21:10	10

(注1) 香川大学の教育は、特定の専門分野に限定されない幅広い知識・能力を養う「**教養教育(全学共通科目)**」と、専門職業人を養成するための「**専門教育(学部開設科目)**」によって構成されています。
1年次の間は教養教育を中心に、2年次以降は専門教育を中心に学びます。

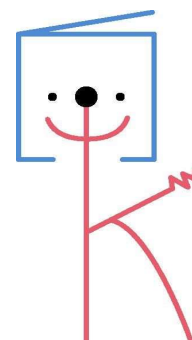
(注2) 授業スケジュール編成の都合上、一部の授業においては、通常とは異なる曜日に開講したり、休講になったりすることがあります。
詳細は、12～13ページの「2022年度行事予定表」をご参照ください。
(昼間と夜間主コースで授業スケジュールが異なります。お間違えのないようにお願いします。)

(注3) 新型コロナウイルス感染の状況により、一部の授業またはすべての授業が遠隔実施となる場合があります。
その場合はパソコンとインターネットの通信環境が必要となります。

(注4) 初回授業の前にガイダンスを行います。初回が対面授業の場合は、開始20分前に香川大学幸町北キャンパス 大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
初回が遠隔授業の場合は、別途お知らせいたします。



大学の授業には、いろんな「気づき」があるよ。
その「気づき」を高校に持ち帰ってみよう。
高校の授業の見方も変わってくるはず！



【第2学期の公開授業(予定)】
・政治思想(専門/法学部)
・経済学入門B(夜間主コース)(専門/経済学部)
このほか、教養教育も充実しています！
また、夏の数日だけで行う「体験授業」もあります。

授業科目名 学習環境の現在と未来 Learning environment	時間割 4月11日(月)～6月6日(月) 毎週月曜日 16時20分～17時50分(計8回)
担当教員名 笹屋 孝允	<u>ただし、5月2日(月)は振替授業で木曜日の授業になりますので、授業はありません。</u> 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
学習時間 演習90分間×8回+自学自習(準備事後合計15時間)	
授業の概要 現在・未来の学習環境の1つとなる、授業動画コンテンツを作成します。小中学校の教師になりきって、授業を行う数分間の動画を、グループで協働しながら作成、編集します。 【キーワード】 学習環境, ICT教育	
授業の目的 現在、教育のICT化が急速な勢いで進められています。一方、ICTのメリットを生かした、個別具体化の教育の必要性も叫ばれています。この授業では、授業動画の作成、編集を通して、ICTスキルだけでなく、教師としての授業スキルも習得することを目的にしています。	
到達目標 ・小中学校の教師としての授業スキルを習得する ・動画作成、編集を通して、ICTスキルを習得する(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応) ・動画作成、編集を通して、グループで協働する態度を身につける(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応) ・今後の学校教育に関する展望を持つことができる	
授業計画並びに授業及び学習の方法 【授業計画】 (1)オリエンテーション (2)授業の組み方と動画編集方法の講義 (3)グループワーク① (4)グループワーク② (5)中間報告会 (6)グループワーク③ (7)グループワーク④ (8)最終報告会 【授業及び学習の方法】 ・グループワークが主体の授業です。 ・原則対面で行います。 【準備学習及び事後学習のためのアドバイス】 ・授業動画作成及び、その準備が事前、事後学習となります(各回2時間×8回)。 ・個々で課題が異なることが予想されるため、内容は授業中に適宜指示します。	
教科書・参考書等 教科書等は特にありません。必要な資料は授業中に提示します。 ノートパソコン必携です。スマートフォン等も所持していれば活用します。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ グループワークが主体のため、メンバーと協力しながら授業に参加できることが受講条件です。授業時間外にもグループワークを行う必要があることを理解した上で受講してください。	

授業科目名 身近な製品の仕組みとものづくりの基礎 Mechanism in products and basic monozukuri	時間割 4月14日(木)～6月2日(木) 毎週木曜日 16時20分～17時50分(計8回) <u>ただし、5月2日(月)は振替授業で木曜日の授業になりますので、授業があります。</u> 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
担当教員名 松田 伸也	
学習時間 授業90分×8回 + 自学自習(準備学習 15時間 + 事後学習 15時間)	
授業の概要 私たちの身の回りには様々な製品や飛行機・自動車のような構造体など「もの」の仕組みと、これら「ものづくり」の一連の方法の基礎について概説します。まずはじめに、ユーザーが製品や構造体を使用するにあたって事故やトラブルが発生しないように製作・管理・メンテナンスをしなければいけませんが、過去には多くのトラブル・事故が実在します。そのトラブル・事故事例について紹介します。次に、身近な製品・構造体の動作原理について説明し、「ものづくり」の一連の方法(材料の種類・選択、強度設計、測定、加工方法、組み立て・公差、品質管理と生産システム)について概説します。 【キーワード】 ものづくり	
授業の目的 私たちの生活・社会活動は、様々な材料を用いて製造された製品や構造体など「もの」を用いて行われています。今後、社会生活活動の維持および発展には「もの」の継続的な維持管理および進歩が要求されます。21世紀社会に求められている持続可能な「もの」の維持管理・進歩に貢献するために、これまでどのような「もの」がどのような原理で使われ、使用中に何が原因でトラブル・事故が起きたのか理解して考える力を身に付けます。その後、「ものづくり」の一連の方法について基礎を身に付け、新しい「ものづくり」に関する様々な課題に対してチャレンジできるようにします。	
到達目標	
以下に示す到達目標は、毎回の授業内容(授業計画)に対応しています。 (共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応) 1. 過去のトラブル・事故について説明できる。 2. 身近な製品・構造体の原理について説明できる。 3. 身近な製品・構造体を使用されている材料について、その理由と概要を説明できる。 4. 簡単な強度設計ができる。 5. 測定の原理を理解し、ノギスとマイクロメータが読める。 6. 工作機械による加工方法について説明できる。 7. 組み立てと公差について説明できる。 8. ものづくりの基本的な流れと品質管理・生産システムの概要について説明できる。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
【授業計画】 第1回 「ものづくり」の流れの基本、過去の事故事例紹介と事故を起こさないためには？ 第2回 身近な製品・構造体(飛行機、自動車)の原理 第3回 様々な材料の特徴と用途 第4回 強度設計(材料力学の基礎～壊れないように形状を設計する) 第5回 測定の基礎知識、測定機の種類と特徴、測定を行う環境 第6回 機械加工方法 第7回 製品・構造体の組み立てと公差 第8回 品質管理と生産システム 【授業及び学習の方法】 授業は講義中心に進めます。また各人にミニレポートを課し、講義で学んだ内容及び授業外で自ら学んだ内容の整理および実践的な理解を促します。 この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては、全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。 【自学自習のためのアドバイス】 準備学習として、moodleに授業開始前までに、毎回の授業資料を公開します。授業資料をよく読み、理解に必要なキーワードや事項は授業開始までに理解に努めてください。	
教科書・参考書等 教科書は使用せず、moodle上で授業資料を公開・配布	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 毎回、出席確認を含むミニレポートを課します。	

授業科目名 歌唱法基礎 A Fundamentals of Vocal A	時間割 4月14日(木)～7月21日(木) 毎週木曜日 16時20分～17時50分(計15回) ただし、5月2日(月)は振替授業で木曜日の授業になりますので、 <u>授業があります。</u> 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階 (14ページ参照)にお越しください。
担当教員名 若井 健司	
学習時間 講義・演習・実技×15回+自学実習	
授業の概要 歌唱指導に必要な正しい発声の基礎を理解し、各自の自然な声を見い出させるために、声を使った多種多様な表現を実践する。日本語の発音を再認識し、美しい母音が必要な基礎的イタリア歌曲を中心に歌唱体験を進めていく。 さらに教材として、身近な郷土に伝わる日本民謡・わらべうた等を取り上げ、日本古来の旋法になじませながら、その歌唱表現についての実践研究を行う。	
授業の目的 ①初等教育に必要な声を使った表現、歌唱指導に必要な基礎的発声・歌唱技術を習得する。 ②身近な環境から生まれ、伝わってきた日本古来からの歌を再認識し、伝統的な音楽の歌唱表現を学ぶ。 ③言葉による表現を多彩に使用できるようにし、声を使ったコミュニケーション術を学ぶ。	
到達目標	
1, 初等教育の教師として、必要な声量を身につけるようにしよう。 2, 歌唱教材を自信を持って歌唱できるようにしよう。 3, 伝統的な音楽の唱法を身につけよう。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
実技練習を加えた演習形式 (1)オリエンテーション (2)言葉と音楽の結合① (3)言葉と音楽の結合② (4)呼吸法① (5)呼吸法② (6)朗読劇① (7)朗読劇② (8)朗読劇③ (9)日本の民謡・わらべ歌① (10)日本の民謡・わらべ歌② (11)言葉の旋律性 (12)イタリア歌曲の実践① (13)イタリア歌曲の実践② (14)イタリア歌曲の実践③ (15)授業のまとめ (16)定期試験	
教科書・参考書等 テキストをこちらで用意します。 必要に応じて、指示する。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ AとBは、必ず同一年度に連続して履修すること。2年生及び1年生履修可能	

授業科目名 民法入門 An Introduction to Civil Law	時間割 4月12日(火)～7月26日(火) 毎週火曜日　16時20分～17時50分(計15回)
担当教員名 辻上　佳輝	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階（14ページ参照）にお越しください。
学習時間 講義90分　×　15回　＋　自学自習	
授業の概要 財産法の分野について講義する。民法の基礎的内容の習得を目指す。	
授業の目的 財産法の分野について、①基礎的語彙の習得、②簡単な論点の理解、などができるようにする。	
到達目標 ①民法の基礎的語彙をできるかぎり多く使えるようになる。 ②簡単な論点について説明できるようになる。	
授業計画並びに授業及び学習の方法 第1回　概要説明・ガイダンス 第2～3回　法律学の基礎 第4～5回　民法の基礎 第5～7回　民法総則 第8～10回　物権法 第11～13回　債権法総論 第14～15回　債権法各論（契約総論・各論） （実際の講義内容は、第1回の教材に記載します）	
教科書・参考書等 教科書・参考書は用いず、教材を配布する。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 1回生はできるだけ履修してください。	

授業科目名 刑事法入門 Introduction to Criminal Law, Criminal Procedure Law, Criminal Policy and Victimology	時間割 4月11日(月)～7月25日(月) 毎週月曜日 16時20分～17時50分(計15回) <u>ただし、5月2日(月)は振替授業で木曜日の授業になりますので、授業はありません。</u> <u>7月18日(月)は祝日ですが、授業があります。</u> 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
担当教員名 平野 美紀	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習(準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)	
授業の概要 毎日たくさんの犯罪事件が報道されています。みなさんの周囲にももしかすると犯罪事件が起きているかもしれません。また裁判員制度も開始され、犯罪事件や裁判をより身近に感じ、そして刑事司法に変革が求められる時代です。この授業では、2年次以降に学ぶ刑法総論・各論・刑事訴訟法の枠組みを作る基礎的な知識を身につけたうえで、2年次以降では扱われることが少ない犯罪者の処遇や社会復帰、被害者にかかわる法制度を中心に学びます。具体的には、法務省が現在力を入れている再犯防止対策や、刑務所等での処遇に関して定める刑事施設収容法、仮釈放で刑務所出所した後の保護観察制度等を定める更生保護法、20歳未満の少年が犯罪行為等を行った場合に関する少年法、犯罪被害者の権利や関連する法制度とその運用です。また、近年問題になっている、家庭内における犯罪としての児童虐待やDVの防止、精神障害を有する者が重大事件を行った場合の処遇制度についても学びます。	
授業の目的 次の4点を目標とします ①刑事法にかかわる法律の基礎を習得する。 ②刑事司法の仕組みを理解する。 ③犯罪者処遇や被害者支援の法制度を学ぶ。 ④現代社会における刑事司法の課題について関心を深める。	
到達目標 ①刑事法にかかわる法律と刑事司法の仕組みについて、説明できる。 ②犯罪者処遇や被害者支援の法制度について、説明できる。 ③現代社会における刑事司法の課題について自分の考えを説明できる。	
授業計画並びに授業及び学習の方法 教科書・レジュメに基づいた講義形式で行います。 ゲストスピーカーによる講義も予定していますが、ゲストスピーカーの日程調整のため、順序は変更の可能性があります。 (1) ガイダンス：刑事法とはなにか、刑事司法の仕組み (2) 犯罪と刑罰について その1：現代日本の犯罪現象と再犯防止 (3) 犯罪と刑罰について その2：刑法の存在意義と刑罰の種類、刑罰の決め方について (4) 刑法の基礎 (5) 犯罪論の基礎(構成要件・違法性・責任) その1：犯罪の成立要件と構成要件 (6) 犯罪論の基礎(構成要件・違法性・責任) その2：違法性阻却事由と責任能力 (7) 故意・過失・共犯 (8) 【小テスト：範囲は(1)～(7)】 (9) 加害者の施設内処遇と社会内処遇 (10) 少年法と非行少年の処遇 (11) 被害者の支援制度 (12) 犯罪被害者の方による講演・犯罪被害者支援について【課題レポート①対象】 (13) 現在の刑事司法上の課題(家庭内犯罪としてのDV、児童虐待)と再犯防止 (14) 講演会：少年院での処遇に関して【課題レポート②対象】 (15) まとめ	
教科書・参考書等 教科書：井田良『基礎から学ぶ刑事法(第6版)』有斐閣アルマ 参考書(必須ではありません)：『法律用語辞典(第5版)』(有斐閣、2020)	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 日ごろから、新聞等で報道されている犯罪事件や刑事裁判について関心をもっていただきたいと思います。	

授業科目名 政治学入門 Introduction to Political Economy and History	時間割 4月8日(金)～7月22日(金) 毎週金曜日 16時20分～17時50分(計15回)
担当教員名 金子 太郎	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回+自学自習(相当の読書量を必要とする)	
授業の概要 現在の日本では様々な自由(信教の自由、思想・信条の自由、報道の自由など)が認められていて、不正なく普通選挙が行われています。この2つの条件を満たしている国を「自由民主主義(リベラル・デモクラシー)」の国と言います。また、現在の日本は経済活動においては市場経済を基本に経済運営を行っている資本主義体制の国です。自由民主主義や資本主義は皆さんにとっては空気のように「あって当たり前のもの」かもしれませんが、歴史的、地理的な広がりを持って世界史を見てみると、全然そうではありません。どういう歴史的経緯で人類がこれらの政治制度、経済体制を持つようになったかを知るのは非常に重要です。 この講義では、近代市民革命(イギリスのピューリタン革命・名誉革命、アメリカ独立革命、フランス革命)の時代から人類がどのような歴史の経緯を経て、これらの政治制度、経済体制を得ていったかを考えてみましょう。 同時に地理的にも広く現在の世界を見てみましょう。世界には自由民主主義、資本主義の国はどれくらいあるでしょう?意外と少ないことに気がつくはずです。 皆さんが歴史的かつ地理的に視野を広げて政治、経済、歴史、国際政治の問題を考察する視野を持てるようになることがこの講義の目標です。 そういう視野を持って、現在の日本が直面している問題についても考えてみましょう。	
授業の目的 ①歴史的かつ地理的に視野を広げて、政治、経済、歴史・国際政治の問題を考察できるようになること。 ②読書の面白さを感じて欲しい。	
到達目標	
①歴史的かつ地理的に視野を広げて、政治、経済、歴史・国際政治の問題をとらえられるようになること。 ②読書の習慣を始めること。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
第1回 近代以前の統治(強者の支配)と近代市民革命 第2回 19世紀 自由主義 第3回 19世紀 資本主義経済の発展、帝国主義、社会主義、共産主義、ナショナリズム 第4回 つづき アヘン戦争～アジアの植民地化、幕末～明治維新～日本の近代 第5回 つづき 第6回 20世紀 戦争と革命の世紀 第7回 第1次世界大戦 第8回 つづき 第9回 戦間期 第10回 つづき 第11回 第2次世界大戦 第12回 日中戦争、アジア・太平洋戦争 第13回 つづき 第14回 つづき 第15回 まとめ 講義中にかなりの数の課題図書を指定するので、読んで欲しい。大学の勉強は「講義を聴いて試験でそれを答案に書けばいい」という受動的なものだけではない。自ら読書をする習慣を大学1年生の前期から身に付けて欲しい。また、読書が結構面白いものだと感じて欲しい。 この科目は全回対面授業を行う。ただし、状況によっては全てまたは一部の回の授業形態を遠隔配信へと変更する可能性がある。	
教科書・参考書等 半藤一利『昭和史 1926-1945』(平凡社文庫)は講義中にも読むので必ず購入すること。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 試験は課題図書を持ち込み可にする予定だが、事前によく読んで、どこに何が書いてあったかを覚えておかないと解けない問題が出るので、3ヶ月半ほどで課題図書をよく読んでおいて欲しい。読書計画を自分で立てて実行して下さい。	

授業科目名	時間割
法学入門(夜間主)	4月8日(金)～6月3日(金)
	毎週火曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分(1日2回、計15回)
担当教員名 春日川 路子	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回＋自学自習(準備学習30時間＋事後学習30時間)	
授業の概要 この授業では、憲法、民法、刑法をはじめとする、大学の法学部で専門科目として学ぶことになる種々の法律について概説します。またあわせて、法律学の基礎的な事項も紹介します。 授業は、教科書、レジュメ、スライドを用いて行います。	
授業の目的 種々の法律の種類とその内容、ならびに法律学の基礎的な事項を知り、それらを与えられた課題を踏まえて説明できるようになる。	
到達目標	
1. 法律の種類とその内容、ならびに、法律学の基礎的な事項を列挙できる。 2. 法律の種類とその内容につき、与えられた課題を踏まえて説明できる。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
この科目は全回対面授業を行います。なお、状況により全部または一部の授業回を遠隔授業へ変更する場合があります。授業の進捗等により、計画を変更する場合があります。毎回出席を確認します。 第1回 ガイダンス、この授業で取り扱う法と基本的事項について 第2回 法とは何か 第3回 法の基本－法と手続、民事訴訟法を中心に 第4回 法の基本－民法 第5回 法の基本－犯罪と法、刑法 第6回 法の基本－犯罪と法、刑事訴訟法 第7回 法の基本－憲法 第8回 法と社会－ライフスタイルをつらぬく法 第9回 法と社会－人々の暮らしと法 第10回 法と社会－組織に関する法 第11回 法と社会－市場にかかわる法 第12回 法と社会－公益実現のための法 第13回 法と社会－情報にまつわる法 第14回 法と社会－グローバル社会の法 第15回 法とは何か、再び、授業のまとめ 自学自習のアドバイス 事前学習として、教科書や参考書の授業にかかわる箇所を読んで授業に参加すること。具体的には、読めない言葉や用語はあるか、読んでいて内容がわからない箇所があるかに注意するとよい。わからない箇所があった場合には、印をつけておくとよい。ページや取り扱う内容については適宜指示する。 事後学習として、リアクションコメントの課題に取り組む、教科書や参考書の取り扱った範囲および配布された資料を再度読む、授業で紹介された文献を探して目を通すとよい。授業の直後だけでなく日頃から教科書や配布資料、参考書等を用いて学習した内容を複数回確認するとよい。	
教科書・参考書等 穴戸常寿・石川博康編『法学入門』(2021年、有斐閣) ¥1,700＋税に基づいて概説する。 六法が手元にあるとよい。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	

授業科目名 経営管理論 Management and Administration	時間割 4月12日(火)～7月26日(火) 毎週火曜日 16時20分～17時50分(計15回)
担当教員名 松岡 久美	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回+自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)	
授業の概要 本講義は、初めて経営学を学ぶ学生を対象として、企業経営の全体像は何か、経営学の全体像は何か、経営学を学ぶ意義は何か、経営学をどのように勉強すればよいか、などを説明する導入科目である。経営学各分野の諸理論と企業経営の実例を紹介しながら、経営学の概要を分かりやすく講義したい。	
授業の目的 経営学と企業経営の全体像を理解してもらうのが本授業の目的である。	
到達目標 1. 企業と経営の仕組みについて自分の言葉で語ることができる(学士課程のDP「b:知識・理解」に対応)。 2. 企業経営の実際を考察する際に必要な基本的な考え方を身に付け、自身の問題意識と関連づけて考察することができる(学士課程のDP「c.問題解決・課題探求能力」に対応)。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
授業は基本的にパワーポイントを使った講義形式で進める。また、ビデオなどの視聴覚教材も適宜使用する。 第1回 インTRODakション 第2回 企業経営の全体像 第3回 経営学の全体像 第4回 企業と会社 第5回 企業とインプット市場との関わり 第6回 企業とアウトプット市場との関わり 第7回 競争戦略のマネジメント① 第8回 競争戦略のマネジメント② 第9回 多角化戦略のマネジメント 第10回 国際化のマネジメント 第11回 マクロ組織のマネジメント 第12回 ミクロ組織のマネジメント 第13回 キャリアデザイン 第14回 経営学の広がり① 第15回 経営学の広がり② ＊この科目は基本的に対面授業を行う。なお状況によっては受講生をグループに分け授業形態を一部遠隔へ変更する可能性がある。 ＊進捗状況に応じて授業計画を変更する場合がある。 【自学自習に関するアドバイス】 講義前・講義後にはテキストの関連内容について予習・復習をしてください。	
教科書・参考書等 加護野忠男・吉村典久(2021)『1からの経営学(第3版)』碩学舎。2,400円+税。生協で販売。 (教科書は、受講生が各自で入手すること。)	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業中の私語と携帯電話の使用を慎むこと。 受講生は日頃から『日本経済新聞』や『日経ビジネス』『週刊ダイヤモンド』などのビジネス雑誌に目を通し、企業の経営動向について観察する習慣を付けてください。	

授業科目名 経済学入門A(夜間主) Introduction to Economics A	時間割 4月8日(金)～6月3日(金) 毎週金曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分(1日2回、計15回) 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
担当教員名 福村 晃一	
学習時間 講義90分×15回+予習・復習などの自学自習(準備学習 15時間 + 事後学習 45時間)	
授業の概要 経済学の基礎のひとつであるミクロ経済学の基礎について講義する。この科目と経済学入門B(マクロ経済学)は経済学の基礎を習得することを目的としている。ミクロ経済学は、経済活動を行う個々の意思決定の主体に焦点を当てている。それらの経済活動がもたらす相互作用は、市場を通じたものとそうでないものに大別される。そのため、まずは市場を通じた分析やそれに関係する概念を講義する。その後、それらの様々な応用例や、市場を通さない相互作用について講義する。	
授業の目的 経済学部での授業の基礎となる、ミクロ経済学に関する基礎的な知識や考え方を習得する。 経済学部での授業の基礎となる、数理的思考に関する基礎的な知識や考え方、計算能力を習得する。	
到達目標 1. 経済学で用いられている基礎的な概念を理解し、説明できる。(DPの知識・理解／広範な人文・社会・自然に関する知識と対応) 2. 経済学を活用して整備された様々な制度などに関する知識を習得し、現実の経済活動に関する様々な事柄を、経済学の観点から考えられる。(DPの知識・理解／広範な人文・社会・自然に関する知識と対応)	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
以下の授業計画に基づいて板書とスライドを基本とした講義を行う。講義前にスライドを配布する予定なので、活用してください。なお、実際の授業の進捗状況によっては以下の計画が変更される場合があるが、その際は周知する。この科目は原則全回対面授業を行います。 【授業計画】 1. 講義の概要説明、経済学のイントロダクション 2. 需要 3. 供給 4. 企業の生産活動 5. 市場均衡の分析 6. 規制・政策の市場への影響の分析 7. 社会厚生(余剰分析) 8. 社会厚生(課税の影響) 9. 独占 10. 寡占・ゲーム理論 11. 貿易 12. 労働市場 13. 公共財 14. 様々な社会の指標・政策 15. まとめ 【自学自習について】 適宜練習問題をスライドなどで示すので、式展開や結果の解釈、専門用語の定義などを独力で説明できるようにすること。また、講義の途中で小テストを行うので、知識・考え方を着実に身につける毎回の復習が重要である。面倒がらずに、自分で手を動かして確認することが定着につながります。	
教科書・参考書等 講義資料をもとに講義を行うため、教科書は購入する必要はない。ただし、講義内容は「マンキュー経済学ミクロ編(第3版)」、N. グレゴリー・マンキュー、足立英之ほか訳、東洋経済新報社、2013年(4000円+税)をもとにしているため、必要であれば購入すること。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 一度休むと、ついてこれなくなる可能性があるため、休まないようにしましょう。	

授業科目名 (特) アメリカ経済論	時間割 6月15日(水)～8月3日(水) 毎週水曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分(1日2回、計15回) 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
担当教員名 加藤 美穂子	
学習時間 講義90分×15回 + 自学自習 (準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)	
授業の概要 20世紀末に冷戦が終焉してからグローバル化が加速し、アメリカ・モデルのインパクトを受けながら、世界中の国々で経済社会の構造変化が進んでいます。そのインパクトの発信元であるアメリカ自身も、その国内では20世紀型の構造から21世紀型への変化が進行しており、そのことが、世界規模の構造変化を促進しています。 本講義では、このアメリカ・モデルの理念とデザインを理解するために、アメリカの経済社会の全体構造とその国際的な経済関係、そして、アメリカ経済の基幹分野である自動車産業、食糧・農業分野などを考察します。 講義は、教科書に沿って授業を進めますが、受講者の理解を助けるために、授業内容に関連する参考資料や新聞記事、映像なども紹介します。受講生には、小課題への解答やコメント等を求める予定です。	
授業の目的 アメリカ自由主義は個人の自立的な生活と人生を基盤とするため、個人にとっての「就労機会」の存在が必要不可欠であり、そのためにアメリカ経済の安定と成長が求められます。世界規模でのグローバル化が進展する中で、アメリカの経済社会は脱工業化とサービス化とIT化による構造変化の中で、新たな「就労機会」の創出が求められています。 本講義では、このアメリカ経済社会の本質的な理念とデザインとダイナミズムを考察します。 第1に、国内の経済社会の基本構造を分析した上で、その国際的な経済関係を検討し、アメリカ・モデルの本質と特徴を理解することを目指します(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)。 第2に、21世紀のグローバル化という環境変化の中で進行する、アメリカの基幹産業や労使関係の具体像を、グローバルな国際展開も視野に入れて考察し、世界的な構造変化の潮流を論理的・多角的に検討する思考力の育成を目指します(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探求能力」に対応)。	
到達目標	
(1)アメリカ国内の労働編成の変化を説明できる。 (2)アメリカの貿易構造の変化を説明できる。 (3)20世紀の基幹産業である自動車産業の21世紀における再編について説明できる。 (4)19世紀の基幹産業である農業・食料関連産業の21世紀における新たな展開について説明できる。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
【授業の方法】 ・授業はテキストに沿って進めます。授業時にテキストの図表や本文を参照しながら説明しますので、必ず手元で確認できるようにしてください。また、課題をテキストから出題することもあります。 ・受講者に、授業内に小課題への解答やコメントを求めます。課題は必ず期限までに提出してください。課題への取り組みを前提として、授業を進めます。 ・授業に関する連絡や課題の提出は、Moodleを通じて行います。詳細は、ドリームキャンパスもしくは授業内に指示します ・授業形態は基本遠隔方式で行う予定です。状況によっては、一部の授業を対面方式に変更する可能性もあります。 【授業計画】 第1回：ガイダンス・アメリカ経済社会の基本構造(1) 遠隔 第2回：アメリカ経済社会の基本構造(2) 遠隔 第3回：アメリカ経済社会の基本構造(3) 遠隔 第4回：アメリカの貿易構造の変化(1) 遠隔 第5回：アメリカの貿易構造の変化(2) 遠隔 第6回：自動車産業とグローバル化(1) 遠隔 第7回：自動車産業とグローバル化(2) 遠隔 第8回：自動車産業とグローバル化(3) 遠隔 第9回：農業・食料産業：内と外のグローバル化(1) 遠隔 第10回：農業・食料産業：内と外のグローバル化(2) 遠隔 第11回：農業・食料産業：内と外のグローバル化(3) 遠隔 第12回：構造変化が生み出すサービス産業の拡大(1) 遠隔 第13回：構造変化が生み出すサービス産業の拡大(2) 遠隔 第14回：構造変化が生み出すサービス産業の拡大(3) 遠隔 第15回：アメリカ経済社会の理念 遠隔 第16回：期末試験 遠隔 【自学自習について】 ・毎回、予習としてテキストを熟読し、授業後には授業内容を整理して、テキストを再度熟読する。(30時間) ・第1～3回 アメリカ経済社会の基本構造について、統計表を読み取りながら特徴と変化を検討し、説明できるようにする。(6時間) ・第4・5回 アメリカの貿易構造の特徴を説明できるようにする(4時間)	

- ・第6～8回 アメリカ経済における自動車産業の位置づけと、内と外のグローバル化について、説明できるようにする。(6時間)
- ・第9～11回 アメリカの農業・食料産業の特徴を説明できるようにする。(6時間)
- ・第12・13回 アメリカ経済におけるサービス産業の拡大について説明できるようにする。(6時間)
- ・第14・15回 アメリカ経済社会の理念について、説明できるようにする。(2時間)

教科書・参考書等

河崎信樹・吉田健三・田村太一(2018)『現代アメリカの経済社会：理念とダイナミズム』東京大学出版会
(ISBN-13:978-4130421492)

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

- ・重要な連絡は、ドリームキャンパスを通じて連絡します。ドリームキャンパスからの連絡をすみやかに確認できるようにしておいてください。
- ・普段より、新聞やニュースに関心を持ち、見聞きしておくことを推奨します。

令和4年度行事予定表（昼間）

第1学期

	日	月	火	水	木	金	土
4月						1 第1学期開始 第1学期・第1クォーター履修登録期間 4/1～	2
	3 入学式ガイダンス (毎年4/3)	4 新入生ガイダンス	5 新入生修学相談 会	6 新入生修学相談 会 新入外国人留学生 新入生歓迎会	7 定期健康診断 新入生修学相談 会 新入生歓迎会	8 授業開始(第1学 期・第1クォーター)	9
	第1学期・第1クォーター履修登録期間(但しR4年度新入生は4/3～4/6 13時まで) (抽選)						履修登録予備日
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
5月	1	2 振替授業(木)	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28 授業予備日
	第2クォーター履修登録期間 5/28～5/31 13時						
6月	29	30	31	1	2	3	4
	(抽選)			履修登録予備日			
	5	6	7	8	9 授業開始(第2 クォーター)	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
7月	26	27	28	29	30	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16 授業予備日(注)
	17	18 振替授業(月)	19	20	21	22	23 授業予備日(注)
	24	25	26	27	28	29	30
8月	31	1	2	3	4 オープンキャンパス (看護学科)	5 オープンキャンパス	6 夏季休業～9/30
	第1学期定期試験期間						
	7	8	9	10	11	12	13
	授業・定期試験予備日						
	14	15	16	17	18	19	20
	教職員夏季一斉休業(予定)						
	21	22	23	24	25	26	27
9月	28	29	30	31	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	9/15～21 13時まで (抽選)			履修登録予備日			
	25	26	27	28	29	30 第1学期終了	

第2学期

	日	月	火	水	木	金	土
10月							1 第2学期開始 大学記念日 新入外国人留学生 ガイダンス
	2	3 授業開始(第2学 期・第3クォーター)	4	5	6	7	8
	履修登録期間(ただし、令和4年度10月入学者のみ対象)						
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28 前夜祭 (臨時休業)	29
							大 学 祭
11月	30	31 大学祭撤収日 (臨時休業)	1 振替授業(月)	2	3	4	5 授業予備日(注)
	6	7	8	9	10	11	12 授業予備日(注)
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	第4クォーター履修登録期間 11/18～24 13時まで (抽選)			履修登録予備日			
12月	27	28	29	30	1	2	3
	4	5 授業開始(第4 クォーター)	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25 冬季休業～1/7	26	27	28	29	30	31
1月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10 振替授業(金)	11	12	13 会場設置 (臨時休業)	14 大学入学共通テスト
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
2月	29	30	31	1	2	3	4 授業予備日(注)
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24 入試会場設置	25
				入学希望者試験(前期)			
3月	26	27	28	1	2	3	4
	5 医学科のみ28日まで	6	7	8	9	10 入試会場設置	11 春季休業～3/31
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24 卒業式 (毎年3/24)	25
	26	27	28	29	30	31 第2学期終了	

(注1)7/18(月・祝)を授業日とする。
(注2)土曜日の授業予備日は、気象情報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。
(注3)オープンキャンパス:8/4は医学部看護学科、8/5は医学部医学科(午前)・臨床心理学科(午後)・他の学部

令和4年度行事予定表（法・経済学部夜間主コース）

第1学期

第2学期

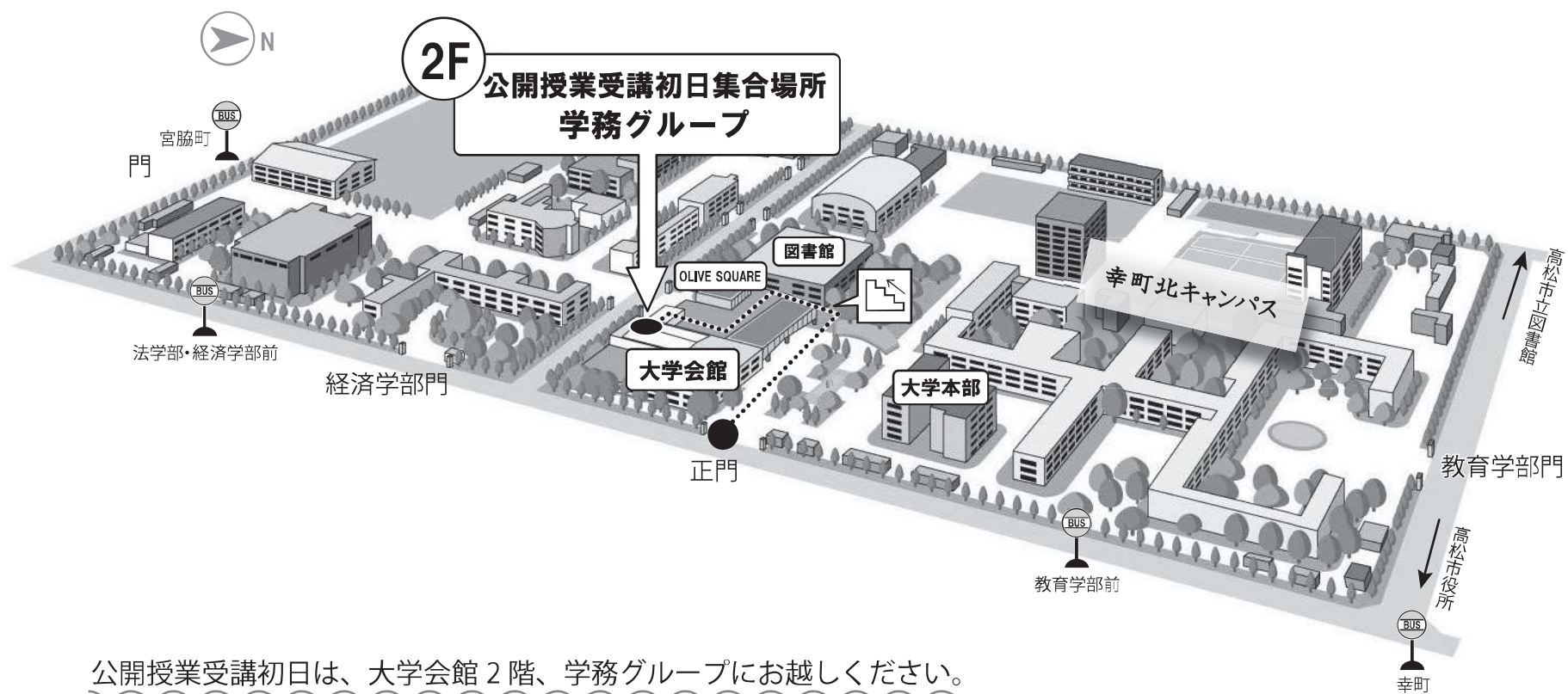
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
4月						1 第1学期開始	2	10月							1 第2学期開始 大学記念日 新入外国人留学生 ガイダンス
						第1学期履修登録期間 4/1～4/8 13時まで									
	3 入学式ガイダンス (毎年4/3)	4 新入生ガイダンス	5 新入生修学相談 会	6 新入生修学相談 会 新入外国人留学生	7 定期健康診断 新入生修学相談 新入生歓迎会	8 授業開始(第1学 期)	9		3 授業開始(第2学 期)	4		5	6	7	8
	第1学期履修登録期間(但しR4年度新入生は4/3～4/6 13時まで)				(抽選)	履修登録予備日			履修登録取消申請期間						
	10	11	12	13	14	15	16		9	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22	23		16	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28 前夜祭 (臨時休業)	29
5月	1	2 振替授業(木)	3	4	5	6	7	11月	30	31 大学祭当日 (臨時休業)	1 振替授業(月)	2	3	4	5
	8	9	10	11	12	13	14		大 学 祭	6	7	8	9	10	11
	15	16	17	18	19	20	21		8	9	10	11	12	13	14
	22	23	24	25	26	27	28		13	14	15	16	17	18	19
							授業予備日(注)		20	21	22	23	24	25	26
6月	29	30	31	1	2	3	4	12月	27	28	29	30	1	2	3
	5	6	7	8	9	10	11		4	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17	18		11	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24	25		18	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	30	1	2		25 冬季休業～1/7	26	27	28	29	30	31
7月	3	4	5	6	7	8	9	1月	1	2	3	4	5	6	7
	10	11	12	13	14	15	16		8	9	10 振替授業(金)	11	12	13 会場設営 (臨時休業)	14
	17	18 授業日(月)	19	20	21	22	23		15	16	17	18	19	20	21
	24	25	26	27	28	29	30		22 大学入学共通テスト	23	24	25	26	27	28
8月	31	1	2	3	4 オープンキャンパス (看護学科)	5 オープンキャンパ ス	6 夏季休業～9/30	2月	29	30	31	1	2	3	4
	7	8	9	10	11	12	13		5	6	7	8	9	10	11
	14	15	16	17	18	19	20		12	13	14	15	16	17	18
	21	22	23	24	25	26	27		19	20	21	22	23	24 入試会場設営	25
9月	28	29	30	31	1	2	3	3月	26	27	28	1	2	3	4
	4	5	6	7	8	9	10		医学科のみ28日まで	5	6	7	8	9	10 入試会場設営
	11	12	13	14	15	16	17		12	13	14	15	16	17	18
	18	19	20	21	22	23	24		19 入学希望者試験(後期)	20	21	22	23	24 卒業式 (毎年3/24)	25
	25	26	27	28	29	30 第1学期終了			26	27	28	29	30	31 第2学期終了	

(注1)7/18(月・祝)を授業日とする。

(注2)土曜日の授業予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。

(注3)オープンキャンパス:8/4は医学部看護学科、8/5は医学部医学科(午前)・臨床心理学科(午後)・他の学部

香川大学幸町キャンパスマップ



公開授業受講初日は、大学会館 2 階、学務グループにお越しください。

高校生を対象とした公開授業及び体験授業に係る受講生・保護者連絡先

受 講 生 氏 名	
受 講 生 電 話 番 号	
受講生メールアドレス	
保 護 者 氏 名	
保 護 者 連 絡 先 (電話番号・メールアドレス)	

※携帯等のメールアドレスは大学（パソコン）からのメールが届かない可能性もありますので、パソコンやWeb のアドレスをお持ちでしたら、携帯等のアドレスと併せてご記載ください。

香川大学から受講決定の通知がありましたら、受講初日にこの用紙と受講料をお持ちください。（公開授業は1科目につき、「15 及び 16 回の授業は 2,300 円」、「8 回の授業は 1,800 円」。体験授業は無料。）

なお、上記の個人情報は、香川大学が高校生対象公開授業及び体験授業の実施に当たり必要な範囲において利用させていただきます。それ以外の目的に利用することはありません。